

## 阪 南 市

### 「団塊の世代まちづくり参画推進事業」

～全国初! 「団塊の世代」の全市民を対象にした意識調査を実施～

#### 背景

阪南市は、人口約5万9千人で、高齢化率19.1%、少子化率14.6%の大阪南部に位置するベッドタウンです。平成27年には、生産年齢人口の3人で老年人口1人を支えるという、超高齢化社会になることが推計されています。(「国立社会保障・人口問題研究所」推計による)

本市は、財政困難な状況の中にあって、「財政再建実施計画」を策定し、「行財政改革」を実施しています。そして今後、人口減少や少子高齢化、一人暮らし高齢者の増加等の急激な社会状況の変化に対応する施策を進める必要があります。また、「市民参画市政」の推進を市政の経営方針に掲げ、「団塊の世代」をはじめ多くの市民の参画による「安全・安心のまちづくり」を進めようとしており、これから高齢期を迎える「団塊の世代」がどのように「まちづくり」に参画するのか、また、どのようなライフスタイルを確立するのが重要です。

そして、平成12年には、行政の「地域福祉計画」と社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」の策定作業をともにし、公民協働による「阪南市地域福祉推進計画(以下「地域福祉推進計画」という。))」を策定しました。この計画の策定をきっかけに、校区福祉委員会活動が全12小学校区で活発に行われ、NPO等による地域活動も活発化しました。また平成18年8月には、「阪南市地域福祉推進連絡協議会」を設置して、「地域福祉推進計画」を公民協働により、定期的に見直し・点検を行っています。

本市では、「団塊の世代」の「まちづくり」の参画を「地域福祉推進計画」に位置づけ、「団塊の世代」を中心とする世代が家族や地域との関係を見直し、これまで職場などで培われた豊かな知識や経験、技



阪南市地域福祉推進計画見直し作業の様子

術を活かし、地域活動に参画し、地域課題を解決する力に換え、市民の手による「まちづくり」が広がる活動を経営するしくみづくり(地域福祉経営)を公民で行ってまいりたいと考えています。

このように、本市においては、「団塊の世代」をはじめとする住民主体の「まちづくり」を支援することに役立てるため、全国で初めて、55歳から64歳(平成19年1月1日現在)までの全市民を対象とした意識調査を実施しました。

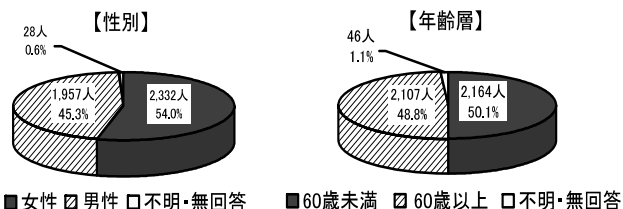
### 調査概要

- (1) 調査対象者 55歳から64歳までの全市民 9,996人
- (2) 調査方法 調査票の配付・回収は郵送により実施
- (3) 調査時期 平成19年2月15日（木）から2月28日（水）まで
- (4) 調査回答者数 4,317人（内訳：女性2,332人・男性1,957人・不明28人）
- (5) 回答率 43.2%

### 主な調査結果と分析

#### (1) 回答者の属性について

回答者の性別は、女性が54.0%（2,332人）、男性が45.3%（1,957人）となっています。回答者の年齢層については、60歳未満が50.1%（2,164人）、60歳以上が48.8%（2,107人）です。



### 主な調査内容

- (1) 居住地域・定住希望など
- (2) 職種・収入など
- (3) 家事の有無、余暇などに費やす時間など
- (4) 健康について、介護予防の考え方など
- (5) 近所との付き合いや地域活動への参加意向など
- (6) 得意なことや趣味や特技を活かして参加したい活動など
- (7) 福祉やまちづくりについての考え方など

#### (2) 家庭・地域での暮らしについて

##### ① 「近所との関わりについて」

近所付き合いの程度について、「顔を合わせたときに挨拶をする」と回答した人が、1,966人（45.5%）と最も多く、その一方で、「困りごとなどを相談しあう」と答えた人は、143人（3.3%）にとどまっています。

性別・年齢層別の近所付き合いの程度

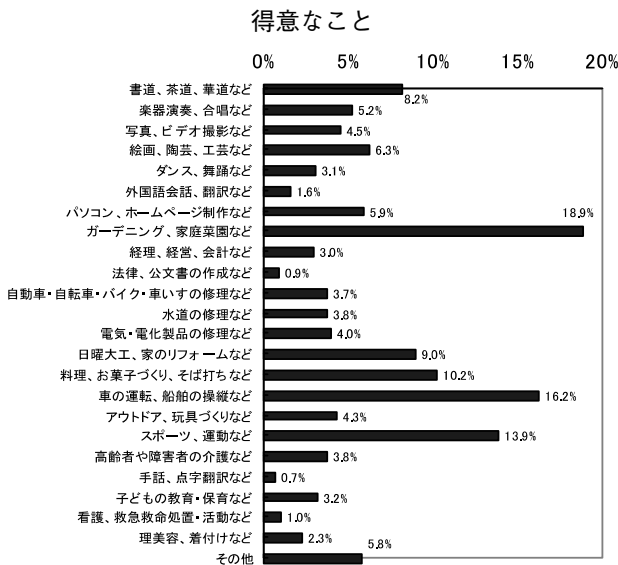
		合計	う 困りごとなどを相談しあ	借 りなどをしあう	簡 単な頼み事や物の貸し	あ う	立 ち話や情報の交換をし	な ったときに話しをする	地 域の活動の場で一緒に	を する	顔 を合わせたときに挨拶	い ほとんど付き合っていない	不 明・無回答
		上段：人数 下段：%											
合計		4,317 100.0	143 3.3	319 7.4	767 17.8	348 8.1	1,966 45.5	318 7.4	456 10.6				
女性	小計	2,332 100.0	119 5.1	249 10.7	562 24.1	156 6.7	845 36.2	85 3.6	316 13.6				
	60歳未満	1,201 100.0	54 4.5	133 11.1	281 23.4	80 6.7	452 37.6	48 4.0	153 12.7				
	60歳以上	1,116 100.0	64 5.7	114 10.2	280 25.1	75 6.7	388 34.8	36 3.2	159 14.2				
	不明・無回答	15 100.0	1 6.7	2 13.3	1 6.7	1 6.7	5 33.3	1 6.7	4 26.7				
男性	小計	1,957 100.0	24 1.2	70 3.6	203 10.4	191 9.8	1,116 57.0	233 11.9	120 6.1				
	60歳未満	960 100.0	16 1.7	31 3.2	74 7.7	89 9.3	560 58.3	134 14.0	56 5.8				
	60歳以上	990 100.0	8 0.8	39 3.9	128 12.9	101 10.2	553 55.9	98 9.9	63 6.4				
	不明・無回答	7 100.0	-	-	1 14.3	1 14.3	3 42.9	1 14.3	1 14.3				
無回答・不明	小計	28 100.0	-	-	2 7.1	1 3.6	5 17.9	-	20 71.4				



### (3) 地域福祉推進力について

#### ①得意なことについて

「ガーデニング、家庭菜園など」が816件（18.9%）と最も高くなっており、次いで「車の運転、船舶の操縦など」が699件（16.2%）、「スポーツ、運動など」が601件（13.9%）と続いています。その他にも「手芸・編物・和裁・洋裁」を挙げた人が約30人、少数意見としては「ISO品質管理」、「機械加工」、「人形作り」などもあり、「団塊の世代」の方々が多様な技術や能力を持っていることがわかりました。



#### ②生きがいがづくりや地域貢献のための活動について

自分の趣味や特技を活かしてどのような活動に参加したいか、また、生きがいがづくりや地域貢献のためにどのような活動に参加したいかについて、意向を調査しました。例えば、「自然環境保護に関する活動に参加する」では213人（6.6%）の人が、「子どもの見守り活動に参加する」では204人（6.4%）の人が、「今すぐにでもしたい」と回答しています。「今すぐにでもしたい」との回答は、地域課題のテーマを決めて働きかければ、今すぐにでも地域活動の「新たな担い手」として期待できます。

また、身近な地域活動単位（小学校区）別に「今すぐしたい活動」について分析すると、自分の経験・能力を活かして、地域に貢献したいと考えている人材が地域に潜在していることがわかります。

### 今後の展開について

今回の調査は、「団塊の世代」を対象とした全数調査という貴重な機会をもち、4,317人の市民から、阪南市の「まちづくり」への参画の意向や生活意向

#### 性別・年齢別の今すぐになりたい活動（一部抜粋）

傾向 (f:女性,m:男性)→		f	m	f	f	m	f	m	m	m	m	m	m
上段：人数		1	5	6	7	8	9	20	21	22	23	24	25
下段：%（無回答を除く回答者全体に対する比率）		4	15	16	17	18	19	0	1	2	3	4	5
		（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）	（）
		識字教育のポラ	児童の放課後の活動	子どもの見守り活動	子どもの一時預かり活動	障害者や若者などの調整、仕事上の相談	自分の家や会社の施設の一部を地域に開放する	地域の防災・防犯を普及・指導する活動を行う	自然環境保護に関する活動に参加する	観光地や博物館のガイドのボランティアを行う	公的施設の管理・運営を行う	組織に参加する	まちづくりなど、商店生活
合計		42	132	204	85	44	23	62	213	80	102	95	38
		1.4	4.2	6.4	2.8	1.4	0.7	2.0	6.6	2.6	3.3	3.1	1.2
女性	小計	30	68	112	61	18	14	12	88	35	18	32	11
		1.9	4.2	6.7	3.8	1.1	0.9	0.7	5.3	2.2	1.1	2.0	0.7
	60歳未満	15	34	46	32	8	10	5	41	18	11	13	6
		1.7	3.8	5.0	3.6	0.9	1.1	0.6	4.5	2.0	1.2	1.5	0.7
60歳以上	15	34	66	28	10	4	7	46	15	7	18	5	
	2.2	4.8	9.0	4.0	1.4	0.6	1.0	6.3	2.1	1.0	2.5	0.7	
不明・無回答		-	-	-	1	-	-	-	1	2	-	1	-
		-	-	-	11.1	-	-	-	11.1	22.2	-	11.1	-
男性	小計	12	64	91	24	26	9	50	125	45	84	63	27
		0.8	4.3	5.9	1.6	1.8	0.6	3.4	8.1	3.0	5.6	4.2	1.8
	60歳未満	6	19	24	8	13	4	16	44	16	26	25	11
		0.8	2.4	3.0	1.0	1.7	0.5	2.1	5.5	2.0	3.3	3.2	1.4
60歳以上	6	44	66	16	13	5	34	81	29	58	38	16	
	0.9	6.2	8.9	2.3	1.9	0.7	4.8	10.9	4.1	8.1	5.3	2.3	
不明・無回答		-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答・不明		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

小学校区別の今すぐになりたい活動（一部抜粋）

	14 識字教育のボランティアを行う	15 児童の放課後の活動を支援するボランティアを行う	16 子どもの見守り活動に参加する	17 子どもの一時預かりなどの子育て支援の活動を行う	18 障害者や若者などの就労を支援する（企業との調整、仕事上の相談）	19 自分の家や会社の施設の一部を地域に開放する	20 地域の防災・防犯を普及・指導する活動を行う	21 自然環境保護に関する活動に参加する	22 観光地や博物館のガイドのボランティアを行う	23 公的施設の管理・運営を行う	24 まちづくり、商店活性化、地域再生などに関する組織に参加する	25 NPO法人（特定非営利活動法人）を設立する
合計	42 1.4	132 4.2	132 4.2	85 2.8	44 1.4	23 0.7	62 2.0	213 6.6	80 2.6	102 3.3	95 3.1	38 1.2
尾崎	2 1.1	8 4.1	8 4.1	5 2.6	1 0.5	1 0.5	5 2.6	12 5.9	3 1.6	3 1.6	7 3.6	2 1.1
西鳥取	3 1.6	8 4.1	8 4.1	5 2.6	2 1.0	3 1.5	3 1.5	12 6.0	4 2.1	6 3.1	6 3.0	1 0.5
下荘	2 1.0	8 3.8	8 3.8	5 2.4	1 0.5	4 1.9	8 3.7	19 8.6	6 2.8	3 1.4	6 2.8	3 1.4
東鳥取	5 1.4	14 3.7	14 3.7	12 3.2	5 1.3	2 0.5	7 1.9	26 6.6	9 2.3	9 2.4	13 3.4	4 1.1
波太	- -	1 1.9	1 1.9	- -	1 2.0	- -	1 2.0	4 7.5	- -	3 6.0	1 2.1	- -
舞	12 1.6	35 4.7	35 4.7	18 2.4	14 1.9	5 0.7	16 2.1	45 5.9	18 2.4	27 3.6	24 3.2	9 1.2
朝日	7 2.1	16 4.7	16 4.7	9 2.7	6 1.8	2 0.6	5 1.5	22 6.3	8 2.4	16 4.7	10 2.9	1 0.3
山中溪	1 2.2	6 13.6	6 13.6	4 8.7	- -	1 2.3	- -	5 11.1	2 4.5	2 4.4	2 4.5	1 2.3
福島	1 0.6	7 4.0	7 4.0	6 3.5	2 1.2	1 0.6	2 1.2	11 6.2	7 4.1	4 2.3	3 1.7	2 1.2
上荘	2 0.9	8 3.5	8 3.5	8 3.6	2 0.9	- -	2 0.9	12 5.3	5 2.2	8 3.6	7 3.2	2 0.9
箱作	3 0.8	16 4.1	16 4.1	10 2.6	6 1.6	3 0.8	7 1.8	31 7.8	13 3.4	13 3.4	10 2.6	7 1.8
桃の木台	3 2.4	4 3.2	4 3.2	2 1.6	3 2.4	1 0.8	4 3.3	9 6.9	4 3.2	5 3.9	3 2.4	3 2.4
不明・無回答	1 2.8	1 2.6	1 2.6	1 2.8	1 2.8	- -	2 5.3	5 12.5	1 2.7	3 7.9	3 7.9	3 7.9

上段：人数  
下段：%（無回答を除く回答者全体に対する比率）

等について聴き取ることができました。

この調査から、「団塊の世代」は、近所との付き合いが希薄な傾向が見られる一方で「自分の経験や能力を活かして、生きがい活動や地域活動に参加したい」という強い意向をもっていることが分かりました。

また地域別に分析を行うことで、『「団塊の世代」が「まちづくり」に参画すれば、こんな「まちづくり」ができる！』と想像できる結果となりました。

この調査結果を踏まえ、市民・地域活動団体と学びながら、福祉施策だけでなく、さまざまな施策と協働し、「団塊の世代」が「まちづくり」に参画するきっかけづくりを行っていきます。

そして、「団塊の世代」の参画による「まちづくり」を地域福祉の大きな推進力と受け止め、「地域福祉推進計画」に基づく住民主体の「まちづくり」を、公民協働で進めてまいります。

阪南市地域福祉推進計画および阪南市団塊の世代意識調査報告書は本市ホームページ <http://www.city.hannan.osaka.jp/> からご覧になれます。